

独立行政法人農業者年金基金の令和元事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画を達成し、主務大臣による令和元年度の総合評価が「B」評価であったこと等を踏まえ、役員解任は行わなかった。
----------	---

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画を達成し、主務大臣による令和元年度の総合評価が「B」評価であったこと等を踏まえ、役員報酬について反映させる事項はなかった。
----------	--

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	令和元事業年度評価における主な指摘事項	令和2年度及び3年度の運営、予算への反映状況
業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	令和2年度においては、年間を通じて、新型コロナウイルスの影響により、加入推進活動に一定の制約を受けることも懸念されるが、活動内容に工夫を加えつつ戦略的に取り組まれない。	令和元年度評価における指摘事項を踏まえ、 (1) 「令和2年度における農業者年金加入推進の取組方針」を以下の通り周知徹底するとともに、加入推進計画を着実に実施するよう指導・支援・進捗管理を行った。 ① 「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言」の発令等を踏まえ、当初5月開催予定であった業務受託機関の担当者会議等を6月に変更して開催するとともに ② 上記①に出席が不可能であった業務受託機関を対象にブロック毎の会議を7月に開催し、 ③ また、上記①、②にも出席が不可能であった業務受託機関には Web 会議を開催した。 ④ さらに、上記①～③全てに参加が不可能であった業務受託機関には①の担当者会議の収録ビデオを送付した。 (2) 例年全国47会場で開催される「加入推進特別研修会」については、以下の対応により、工夫をしながら開催し、農業者年金制度の理解の増進や加入推進活動

計画に基づいた取組の推進を図った。

① 当基金の役職員の参加が困難な県に対して、理事長のビデオレター、制度説明の読み上げ原稿を提供。

② 人を参集しての開催が困難となった県については、県段階の業務受託機関の職員が市町村を巡回して研修会を実施。

(3) 重点県における重点市町村・JA において巡回による対応が困難なため、加入推進用「ポスター」を発送し、窓口や相談ブース等に貼って、広く周知活動を行うよう指導するなど、重点的な加入推進に資するよう取り組んだ。